
中心市街地活性化基本計画 平成 27年度最終フォローアップ報告

平成 28 年8月

内閣府地方創生推進事務局

目 次

- I. 中心市街地活性化基本計画 最終フォローアップの概要 …… 1 ページ
- II. 目標指標分野別分析結果の概要 …… 2 ページ
 - (1) 集計結果
 - (2) 取組の進捗状況
 - (3) 目標達成の状況
 - (4) 基準値からの改善状況
- III. 計画期間終了後の中心市街地の状況 …… 6 ページ
 - (1) 進捗・完了状況及び活性化状況について
 - (2) 中心市街地活性化協議会の評価について
 - (3) 市民からの評価、市民意識の変化について
- IV. 好取組事例 …… 8 ページ
- V. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各市からの報告 …… 11 ページ

I. 中心市街地活性化基本計画 最終フォローアップの概要

最終フォローアップについて

- 認定を受けた基本計画では、各市が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標（目標指標）を設定している。
- 当該基本計画については、各市自ら計画期間満了後に、取組（事業等）が予定どおり進捗したのか、目標は達成されたのか等を自己評価（最終フォローアップ）として報告して頂いている。
- 平成27年度の最終フォローアップの対象となる11市の11基本計画では、合計22の目標指標が設定されており、各種事業等をもって目標達成に向けた取組が行われてきたところであり、その評価結果をとりまとめる。

平成27年度最終フォローアップ対象計画

11市 11計画 22指標※（詳細はP.11に掲載）

※平成28年7月末までに、136市200計画が内閣総理大臣の認定を受けている。

【参考：平成26年度】25市 25計画 64指標

取組の進捗状況と目標達成状況に関する集計結果

- 最終フォローアップ対象の全22指標を下記の分類により集計を行った。

<取組の進捗状況及び目標達成状況の分類>

- A（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えている。）
 - a（計画した事業は予定どおりには進捗・完了しなかった。一方、最新の実績では目標値を超えている。）
- B（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値は超えたが、目標値には達していない。）
 - b（計画した事業は予定どおりには進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。）
- C（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも達してない。）
 - c（計画した事業は予定どおりには進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。）

	事業は概ね予定どおり進捗・完了	事業は予定どおりには進捗・完了しなかった
目標達成	A : 8指標(36%) (平成26年度:15指標(24%))	a : 1指標(5%) (平成26年度:4指標(6%))
目標は未達成だが、計画当初より改善	B : 3指標(14%) (平成26年度:7指標(11%))	b : 0指標 (平成26年度:2指標(3%))
計画当初より悪化	C : 9指標(41%) (平成26年度:21指標(33%))	c : 1指標(5%) (平成26年度:15指標(23%))

II. 目標指標分野別分析結果の概要

各市が最終フォローアップを行った目標指標を7分野に分類し、各分野の取組の進捗状況、目標達成状況、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果

目標指標分野別集計結果

○ 各市が最終フォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗・完了状況及び目標達成の状況等について、以下の①～⑦の7つに分類した上で集計を行った。

達成状況	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額等	④ 空き店 舗等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A	8 (36%)	4	1	0	0	3	0	0
a	1 (5%)	0	0	1	0	0	0	0
B	3 (14%)	1	1	0	0	1	0	0
b	0	0	0	0	0	0	0	0
C	9 (41%)	5	3	1	0	0	0	0
c	1 (5%)	0	1	0	0	0	0	0
合計	22	10	6	2	0	4	0	0

目標指標分類	主な目標指標	主な取組例
① 通行量	歩行者・自転車通行量 等	観光交流センター整備、市民交流プラザ整備、歩行空間整備、地元農産物直売所事業、中心市街地散策ツアー 等
② 居住人口等	居住人口 等	市営住宅整備、土地区画整理、まちなか住宅取得支援 等
③ 販売額等	商店街の年間小売販売額 等	商業施設整備・リニューアル、店舗併用住宅補助、イベント開催 等
④ 空き店舗等	—	—
⑤ 施設入込数等	観光・文化施設入込客数 等	観光情報発信拠点整備、地域交流センター整備、福祉活動拠点施設整備、まち歩き観光促進事業 等
⑥ 公共交通機関利用	—	—
⑦ その他	—	—

(2)取組の進捗状況

- 取組（事業等）の進捗が順調である（注1） 目標指標は全体の91%である。（平成26年度 67%）
- 「通行量」、「施設入込数等」に関する目標指標は、取組の進捗が順調である指標の割合（取組順調率）が全体平均よりも高い（注2）。
- 一方で、「居住人口等」、「販売額等」に関する目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い（注2）。

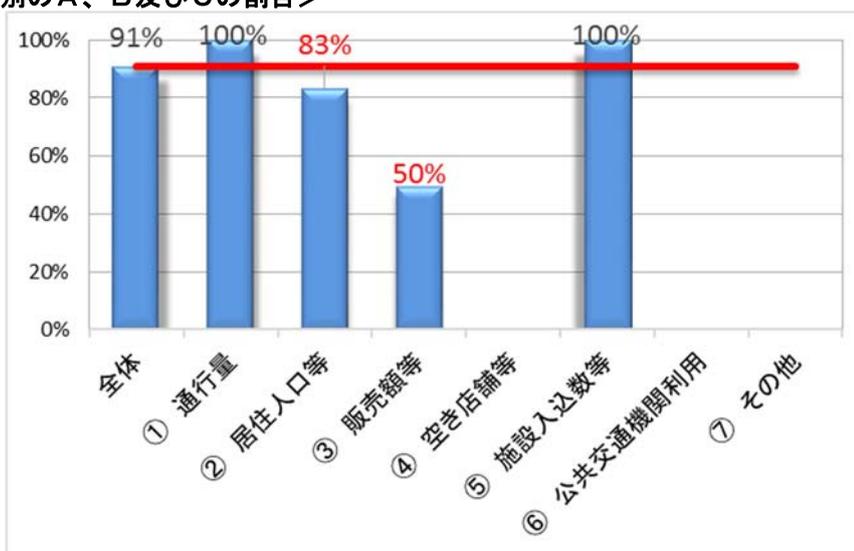
取組の進捗状況に関する分析結果

<各目標指標分野の取組の進捗状況の割合>

	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A+B+C	20	10	5	1	0	4	0	0
a+b+c	2	0	1	1	0	0	0	0
合計	22	10	6	2	0	4	0	0
取組順調率	91%	100%	83%	50%	-	100%	-	-

$$\text{取組順調率} = (A + B + C) / (A + \underline{a} + B + \underline{b} + C + \underline{c})$$

<目標指標分野別のA、B及びCの割合>



(注1) 取組の進捗状況及び目標達成状況の分類(P1参照)のうち、「予定どおり進捗・完了」したものはA、B及びCが、進捗が「予定どおりでない」ものはa、b及びcが、それぞれ相当する。

(注2) 全目標指標のうちA、B及びCが選択された割合（取組順調率）が91%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(3)目標達成の状況

- 目標を達成した^(注1) 目標指標は全体の41%である。(平成26年度 30%)
- 「販売額等」、「施設入込数等」、に関する目標指標は、目標を達成した指標の割合(目達達成率)が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「居住人口等」に関する目標指標の目標達成率は、全体平均よりも低い^(注2)。

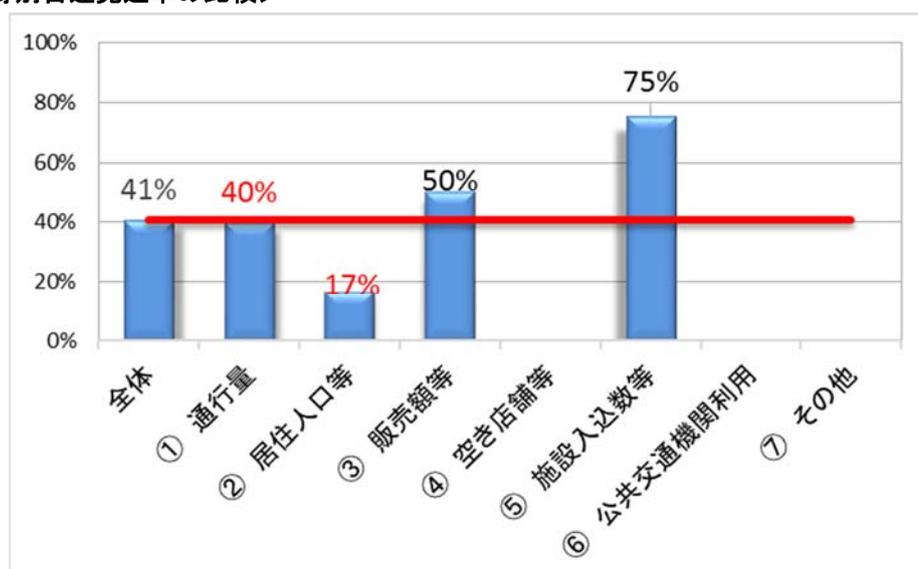
目標達成状況に関する分析結果

<各目標指標分野のA及びaの割合>

	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A+a	9	4	1	1	0	3	0	0
B+b+C+c	13	6	5	1	0	1	0	0
合計	22	10	6	2	0	4	0	0
目標達成率	41%	40%	17%	50%	-	75%	-	-

$$\text{目標達成率} = (A + a) / (A + a + B + b + C + c)$$

<目標指標分野別目達見込率の比較>



(注1) 取組の進捗状況及び目標達成状況の分類(P1参照)のうち、「目標達成」したものはA及びaが、「目標未達成」ものはB、b、C及びcが、それぞれ相当する。

(注2) 全目標指標のうちA及びaが選択された割合(目標達成率)が41%であったため、これと比較して数値が大きい(小さい)場合には、「目標達成率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

(4) 基準値からの改善状況

- 現況（実績値）が基本計画策定時の状況（基準値）から改善している^(注1)
目標指標は全体の55%である。（平成26年度 44%）
- 「施設入込数等」に関する目標指標は、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が全体平均より高い^(注2)。
- 一方で、「通行量」、「居住人口等」、「販売額等」に関する目標指標は、基準値改善率が全体平均よりも低い^(注2)。

基準値からの改善状況に関する分析結果

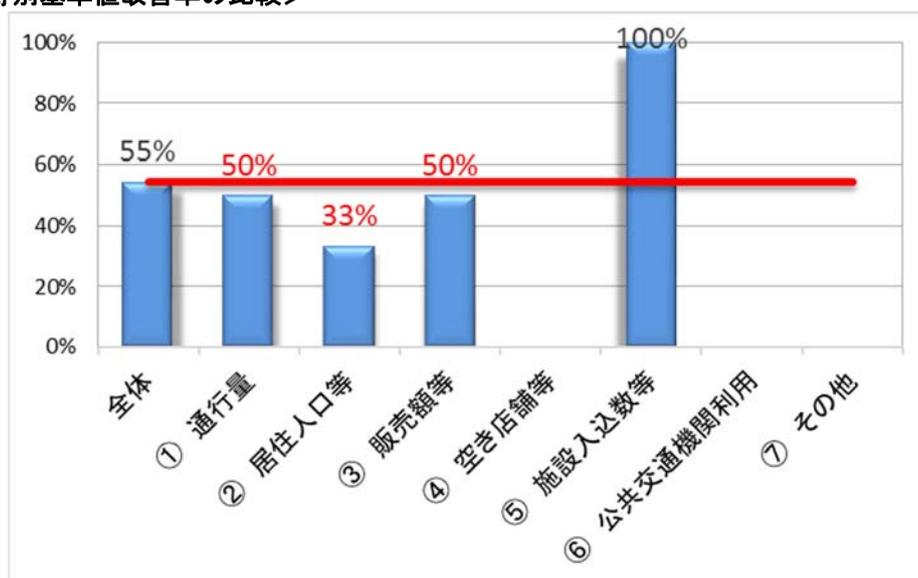
<各目標指標分野の改善状況及び目標達成状況>

	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
基準値より改善	12	5	2	1	0	4	0	0
(うち、目標達成)	9	4	1	1	0	3	0	0
基準値より悪化	10	5	4	1	0	0	0	0
合計	22	10	6	2	0	4	0	0
基準値改善率	55%	50%	33%	50%	-	100%	-	-
目標達成率	41%	40%	17%	50%	-	75%	-	-

$$\text{基準値改善率} = (A + \underline{a} + B + \underline{b}) / (A + \underline{a} + B + \underline{b} + C + \underline{c})$$

$$\text{目標達成率} = (A + \underline{a}) / (A + \underline{a} + B + \underline{b} + C + \underline{c})$$

<目標指標分野別基準値改善率の比較>



(注1) 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類（P 1 参照）のうち、「基準値から改善」したものはA、a、B及び**b**が、基準値から改善していないものはC及びcが、それぞれ相当する。

(注2) 全目標指標のうちA、a、B及び**b**が選択された割合（基準値改善率）が55%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

Ⅲ. 計画期間終了後の中心市街地の状況

各市が市街地の状況や中心市街地活性化協議会及び市民の意見等を参考に、計画した事業が順調に進捗・完了したかどうか、また、中心市街地という単位で活性化が図られたかどうかについて総合的な判断を行った。

(1) 進捗・完了状況及び活性化状況について

- 対象11市（11計画）のうち10計画が、計画した事業が概ね順調に進捗・完了したと判断している。
- 対象11市（11計画）のうち全11計画について、各市の自己評価により中心市街地の活性化が図られたとされている。

【進捗・完了状況】

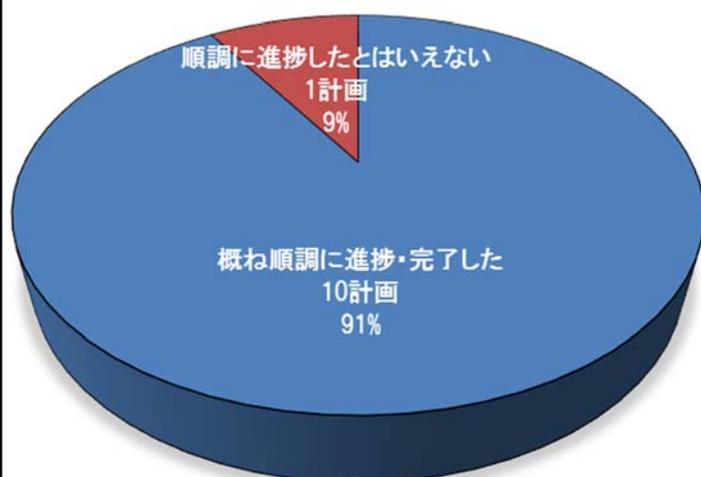
(計画期間終了後の状況)	概ね順調に進捗・完了した	順調に進捗したとはいえない
計画数(全11計画)	10計画	1計画

【活性化状況】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった(計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった(計画策定時より悪化)
計画数(全11計画)	3計画	8計画	0計画	0計画

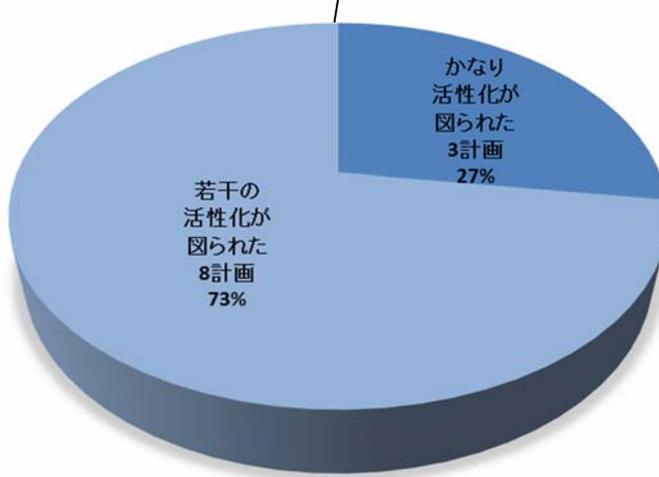
※計画した事業は予定通り進捗・完了したのか。また、中心市街地の活性化は図られたのかを個別指標毎ではなく中心市街地の状況を市が総合的に判断。

【進捗・完了状況】



【活性化状況】

活性化に至らなかった(計画策定時と変化なし) 0%
 活性化に至らなかった(計画策定時より悪化) 0%



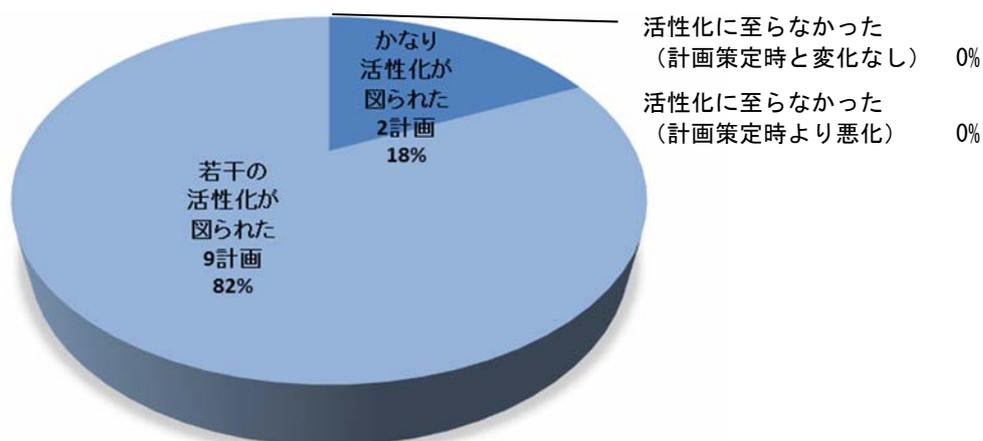
(2) 中心市街地活性化協議会の評価について

○ 対象11市（11計画）のうち全11計画について、各市の中心市街地活性化協議会により中心市街地の活性化が図られたとされている。

【中活協議会としての活性化状況】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)
計画数(全11計画)	2計画	9計画	0計画	0計画

※中心市街地という単位で活性化が図られたかどうかを中心市街地活性化協議会として判断。



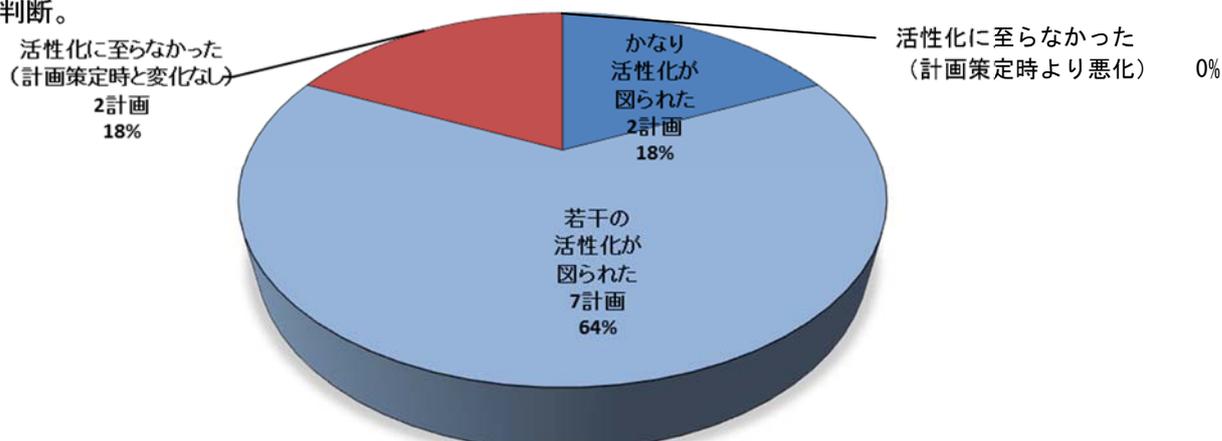
(3) 市民からの評価、市民意識の変化について

○ 対象11市（11計画）のうち9計画について、各市の市民により中心市街地の活性化が図られたとされている。

【市民からの評価、市民意識の変化について】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)
計画数(全11計画)	2計画	7計画	2計画	0計画

※中心市街地の活性化状況について市民意識調査等により市民の声を聴取し、市民意識の変化を総合的に判断。



IV. 好取組事例

① 歩行者通行量の増加に繋がっている事例

市町村名	大仙市(秋田県)【平成22年11月30日認定】		人口(平成27年国勢調査)	82,773人	
計画期間	平成22年11月～平成28年3月				
目標指標	歩行者通行量				
基準値	2,924人/日 (平成21年)	実績値	3,762人/日 (平成27年)	目標値	3,234人/日 (平成27年)
取組概要	<p>○大曲通町地区第一種市街地再開発事業により、医療の充実強化に加え健康・福祉等新機能の導入やバスターミナルの再整備がなされ、中心市街地へのアクセス性、利便性が向上し、来街者が増加。</p> <p>○交流施設等に受診待機情報等を表示するモニターを設置。受診までの空き時間に気軽にまちなか歩きを楽しめるようになったことで回遊性が向上した。</p> <p>○商店街やまちづくりに意欲的な店主らにより地域資源(発酵食品文化、花火等)をテーマとしたイベントが開催されるなど、民間での自立したにぎわいづくりも目標達成に寄与した。</p>				
					
	<p><多彩な交流・活動の拠点 市民活動交流拠点センター></p>		<p><店主ら主催のイベントでにぎわう中心商店街></p>		

② 歩行者通行量の増加に繋がっている事例

市町村名	大垣市(岐阜県)【平成21年12月7日認定】		人口(平成27年国勢調査)	159,927人	
計画期間	平成21年12月～平成27年11月				
目標指標	休日歩行者・自転車通行量の増加				
基準値	9,400人/日 (平成21年度)	実績値	9,734人/日 (平成27年度)	目標値	9,700人/日 (平成27年度)
取組概要	<p>○再開発事業は予定どおり実施されなかったが、計画期間中に整備した奥の細道むすびの地への観光客の増加や、毎月開催している中心市街地商店街元気ハツラツ市が好評であり来街者の増加により、事業効果が得られている。</p> <p>○平成28年9月には遅れていた再開発事業が完了し、中心市街地の魅力は更に高まるものと考えられる。</p>				
					
	<p><奥の細道むすびの地記念館オープニングセレモニー></p>		<p><水の都おおがき たらい舟を楽しむ観光客></p>		

③施設入込数等の増加に繋がっている事例

市町村名	福知山市(京都府)【平成23年3月25日認定】		人口(平成27年国勢調査)	78,956人	
計画期間	平成23年4月～平成28年3月				
目標指標	観光・文化施設(7館)の入館者数				
基準値	70,855人 (平成21年)	実績値	85,673人 (平成27年)	目標値	78,000人 (平成27年)
取組概要	<p>○JR福知山駅の観光インフォメーションセンターにおいて、観光情報提供や展示を行うとともに、イベント情報の発信や市内観光施設との連携・情報提供を進めることで、来街者のまちなか観光を誘導した。</p> <p>○福知山城周辺賑わい創出施設「ゆらのガーデン」は、7店舗からなるテナントミックスとガーデンによって構成されており、市のシンボルである福知山城や美術館の入館者との相互利用が図られた。</p> <p>○「鉄道のまち 福知山」をアピールする拠点施設である「福知山鉄道館ポッポランド」において、展示品の入れ替えのほか、乗車会や鉄道模型イベント等を開催し、リピーターを含めた集客強化を図った。</p> <p>○今後は、福知山城をはじめとした各施設が魅力を高めて相乗効果を図ることにより、より一層のにぎわいにつながるような取り組みを実施する。</p>				
					
	<p><福知山城周辺賑わい施設「ゆらのガーデン」></p>		<p><駅北口公園の賑わいイベント></p>		

④施設入込数等の増加に繋がっている事例

市町村名	沖縄市(沖縄県)【平成22年3月23日認定】		人口(平成27年国勢調査)	139,315人	
計画期間	平成22年3月～平成28年3月				
目標指標	都市福利施設年間利用者数				
基準値	907,457人 (平成20年)	実績値	1,219,777人 (平成27年)	目標値	1,021,057人 (平成27年)
取組概要	<p>○老朽化した体育館や野球場など体育施設の建て替えや、動物園におけるエスカレーター設置をはじめとした大幅リニューアル等、既存施設に新たな機能を付加することで、利便性が向上し利用者が大幅に増加した。</p> <p>○社会福祉センターと男女共同参画センターの複合施設を整備したことで、新たな地域福祉の拠点となり、市内の福祉団体等が入居するほか、会議・講座等で多くの方に利用されている。</p> <p>○今後は、市民ニーズの高い事業である老朽化した図書館の移転・整備等を行うことで、さらなる中心市街地の魅力向上を図る。</p>				
					
	<p><建替えを行った沖縄市営球場></p>		<p><社会福祉センター・男女共同参画センター></p>		

⑤居住人口の増加に繋がっている事例

市町村名	東海市(愛知県)【平成23年6月29日認定】		人口(平成27年国勢調査)	111,988人	
計画期間	平成23年7月～平成28年3月				
目標指標	中心市街地の居住人口				
基準値	3,265人 (平成22年)	実績値	4,032人 (平成27年)	目標値	3,400人 (平成27年)
取組概要	<p>○東海太田川駅周辺土地区画整理事業、市街地再開発事業などにより良好な景観が保たれ、快適に暮らせる環境が整備されたことで居住人口が増加した。</p> <p>○市街地再開発事業により住宅が供給されるなど、計画に位置付けた事業を予定どおり実施することで目標値を達成した。さらに、大型商業施設、芸術劇場、大学の整備など、居住環境の改善の効果が中心市街地で波及し、当初は予定していなかった民間の投資を呼び込んだことで目標値を大きく上回った。</p> <p>○今後は市民参画の推進や市民との協働と協創による地域の再生・活性化などの課題解決に向かって、住民のまちづくりの意識や地域コミュニティの強化を図り、更なる効果の発揮を目指す。</p>				
					
	<p><市街地再開発事業></p>		<p><人が多く集まる芸術劇場></p>		

V. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各市からの報告

<取組の進捗・完了状況の分類>

- A (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えている。)
- a (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績は目標値を超えている。)
- B (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。)
- b (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。)
- C (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。)
- c (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。)

<進捗・完了、活性化状況について、自治体、中活協議会、市民からの評価>

- ① かなり活性化が図られた
- ② 若干の活性化が図られた
- ③ 活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)
- ④ 活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	自治体評価			中活協議会 評価	市民 評価
				評価 分類	進捗 完了 状況	活性化 状況		
平成21年12月7日認定(11G)								
茨城県	石岡市	生活支援機能が享受でき、快適で安心して暮らせるまち	中心市街地の居住人口	c	②	②	②	②
		個性的な商業の活性化に加え、歴史的資産を活かした様々な人々が行き交うまち	歩行者通行量	C				
岐阜県	大垣市	にぎわいの創出	休日歩行者・自転車通行量	A	①	②	②	②
		まちなか居住の推進	中心市街地の居住人口	C				
熊本県	熊本市 (植木地区)	生活環境の整備による居住人口の増加	中心市街地の居住人口	C	①	②	②	②
		商業集積の再編による商店街の活性化	商店街の年間小売販売額	a				
平成22年3月23日認定(12G)								
佐賀県	唐津市	歩きたくなる「まちなか」	中心市街地の歩行者通行量	B	①	②	②	③
		住みたくなる「まちなか」	中心市街地の居住人口	C				
沖縄県	沖縄市	コザ文化を基軸としたまちなか交流の促進によるにぎわいの創出	歩行者通行量(休日)	A	①	②	②	②
		中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善	都市福祉施設年間利用者数	A				
平成22年11月30日認定(13G)								
秋田県	大仙市	多くの人が訪れる医療・福祉機能等が充実したまちを目指す	歩行者通行量(平日)	A	①	②	②	②
		多くの人が生き生きと交流・活動できるまちを目指す	まちなか交流施設の利用者数	A				
兵庫県	明石市	便利で暮らしやすいまち	都市福祉施設利用者数	B	①	②	②	②
		一歩足を伸ばして楽しめるまち	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	C				
平成23年3月25日認定(14G)								
北海道	北見市	都市機能の充実によるにぎわい創出	週末歩行者通行量	C	①	②	②	③
		居住環境の整備等によるまちなか居住の促進	居住人口	B				
栃木県	日光市	歴史・自然資源を活かした街づくりによる交流人口増	歩行者通行量(平日・休日の平均)	C	①	①	①	①
		誰もが安心して暮らすための生活サービス・生活環境の享受と商業活性化	小売年間販売額	C				
京都府	福知山市	人・もの・情報が集まり、誰もが楽しく快適に暮らせるまち	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	C	①	①	①	①
		まちなか観光による人々が集う賑わいあるまち	観光・文化施設(7館)の入館者数	A				
平成23年6月29日認定(15G)								
愛知県	東海市	街なか居住の推進～住みたくなるまちづくり～	中心市街地の居住人口	A	①	①	②	②
		来街者の回遊の拡大～訪れたくなるまちづくり～	歩行者・自転車通行量(休日)	A				